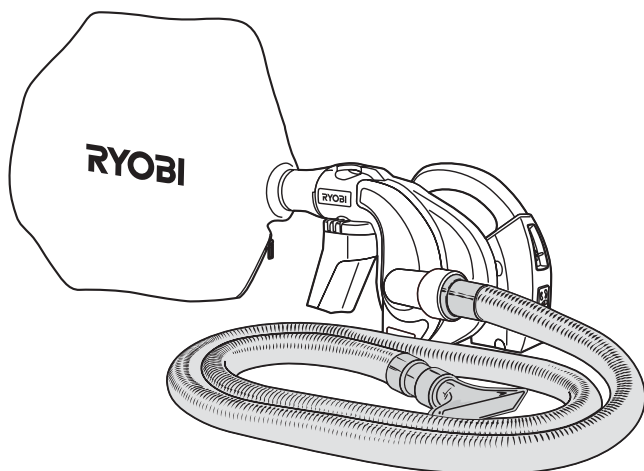


RYOBI

ポータブル集じん機

PVC-510

取扱説明書



もくじ

安全上のご注意	1 ~ 6
各部の名称	7
仕様・用途	8
付属品・別販売品	9
操作方法	10 ~ 18
作業方法	19 ~ 21
別販売品について	22
保守と点検	23 ~ 24

このたびは、リョービポータブル集じん機をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「（注）」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

警告

6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

警告

15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
16. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
17. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
20. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
21. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

警告

22. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお申しつけください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

ポータブル集じん機ご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ポータブル集じん機をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 必ずアース（接地）してください。
 - ・アースしていないと感電の原因になります。
2. アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・爆発の恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 雨中、雨上がり後や散水後および湿気のある場所で使用しないでください。
 - ・感電や故障の原因になります。
5. 可燃性の液体（ガソリン、シンナー、ベンジンなど）やガスのある場所で使用しないでください。また、それらを吸込ませないでください。
 - ・発火、爆発の原因になります。
6. 吸込口や排出口に身体（指、手など）を入れないでください。
 - ・けがの原因になります。
7. 先端ノズル、ダストバッグの取付け、取外しの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・不意な始動による、けがの原因になります。
8. 金属の切断、研削作業中に発生する研削火花や金属粉などを吸込ませないでください。
 - ・火災やけがの原因になります。
9. 火のついたタバコ、マッチなどを吸込ませないでください。
 - ・故障、発火の原因になります。
10. 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に本機および接続している電動工具のスイッチが入っていないことを確認してください。
 - ・不意な始動による、けがの原因になります。
11. 本体を確実に保持または水平で本体が安定する場所に置いて使用してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
12. 誤って落としたり、ぶつけたときは、付属部品（ノズルなど）や本体に亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
13. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店またはリョービ販売営業所に点検、修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。

警告

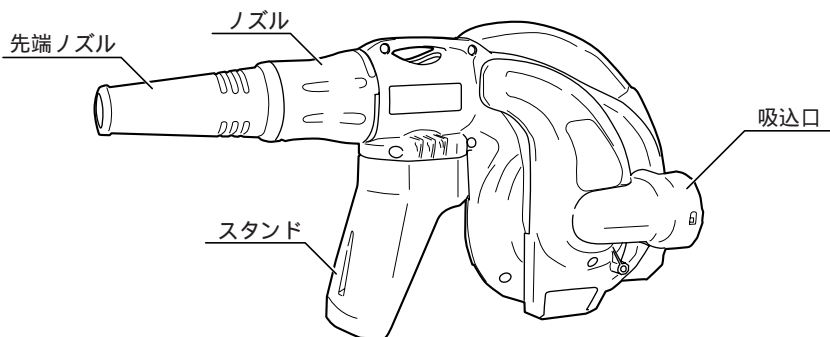
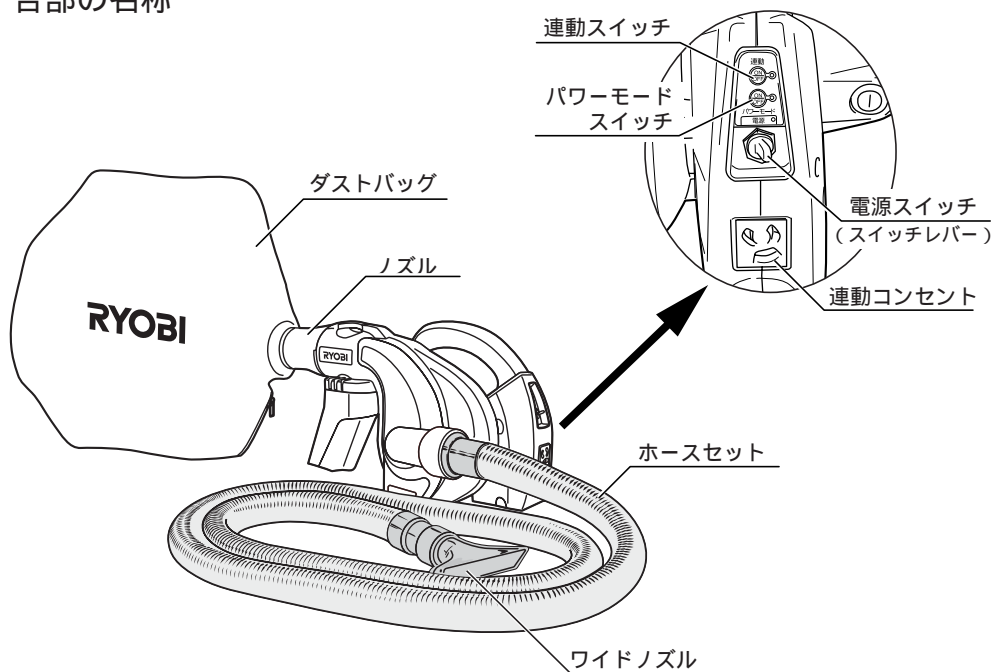
14. 停電などの時は必ず、本機および接続している電動工具のスイッチを切ってください。
 - ・ 停電、プラグの外れ、ブレーカーが切れるなどにより、モーターが停止した時は、必ずスイッチを切ってください。
 - ・ 電源が回復したときに急に始動し、けがの原因になります。
15. 延長コードは、アース中継線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・ アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

注意

1. 排出口、吸込口などをふさがないでください。
 - ・ モーターの回転が異常に高速となり、破損の原因になります。
2. 吸込み作業前に必ずダストバッグを装着していることを確認してください。
 - ・ けがの原因になります。
3. 作業前に大きな木片、金属、ガラス、石などの異物を取除いておいてください。
 - ・ ファン破損の原因になります。
4. 先端ノズルやダストバッグは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
5. 本機のスイッチ操作は、接続している電動工具のスイッチを切った状態で行なってください。
 - ・ 電動工具の保持が不十分になったり、けがの原因になります。

各部の名称

各部の名称



仕様・用途

仕様

運転状態 (パワーモード)	ON (強運転)	OFF (弱運転)
電源	単相・交流 100V 50Hz,60Hz	
電流	5.4A	
消費電力	500W	350W
無負荷回転数	(no)12,500min ⁻¹	(no)9,500min ⁻¹
風量	3.5m ³ /min	2.5m ³ /min
集じん容量	布 : 10	紙 : 6
機体寸法 (長さ × 幅 × 高さ)	386 × 227 × 228mm	
コード長さ	5m	
質量 (本体のみ)	2.3kg	
コンセント容量	900W以下	1,100W以下

用途

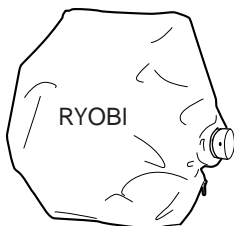
- ・ 建築現場、工作機械の清掃
- ・ 車内の清掃
- ・ ほうきや手の届かない場所のゴミの吹出し
- ・ 玄関まわりやベランダの清掃

(注) 研削火花、金属粉、引火の恐れのある微粒粉じんは吸わせないでください。

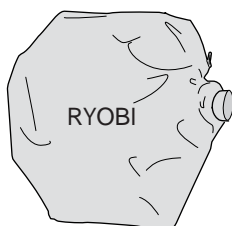
付属品・別販売品

付属品

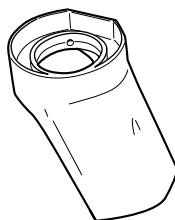
・ダストバッグ



・紙パック用ダストバッグ



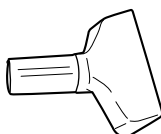
・スタンド



・スキマノズル



・ワイドノズル



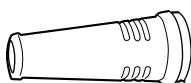
・カフス



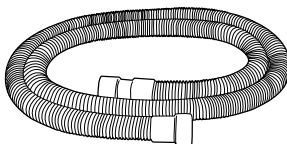
・フィルタ



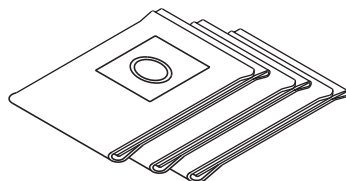
・先端ノズル(125mm)



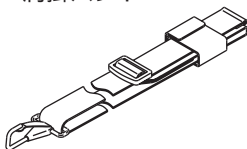
・ホースセット(2.5m)



・紙パック (3 枚)



・肩掛バンド



別販売品

- ・ノズル (220mm)
- ・ロングノズル (450mm)
- ・雨どいノズルセット
- ・パイプセット
- ・逆接地アダプタ
- ・ホースセット5m
- ・集じんホース

長さ 2.5m 接続径 30mm (外径) & 38mm (外径)

長さ 2.5m 接続径 38mm (内径) & 38mm (外径)

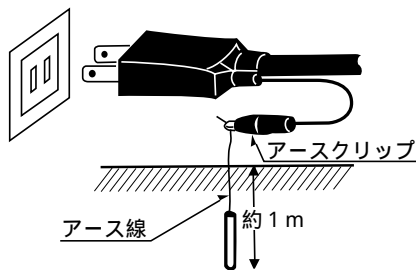
操作方法

漏電しゃ断器について

- ・ご使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電しゃ断装置（漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の市販品の漏電しゃ断器を使用してください。（労働安全衛生規則第333条、第334条、電気設備の技術基準第18条、第28条、第41条）

アースについて

- ・感電事故防止の為、使用に先立ち必ずアース（接地）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- ・アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと連動コンセントのアース端子との導通を確認してください。
- ・アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。



スイッチの扱い方

⚠ 警告

- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

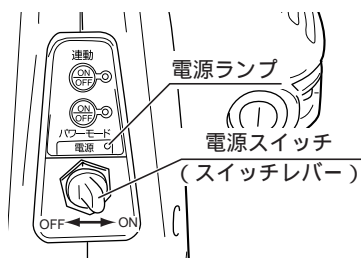
⚠ 注意

- ・本機のスイッチ操作は、接続している電動工具のスイッチを切った状態で行なってください。電動工具の保持が不十分になり、けがの原因になります。

本機には、電源スイッチ、パワーモードスイッチ、連動スイッチの3つがあります。連動スイッチ、パワーモードスイッチはメモリー機能により、前回電源を切ったときの状態が保存されます。出荷時は、連動スイッチOFF、パワーモードスイッチONに設定してあります。

（電源スイッチ）

- ・スイッチレバーをON側に倒すと電源ランプが点灯し電源が入り、OFF側に倒すと電源ランプが消えて切れます。本機を単独で使用するときは、集じん機のスイッチとして使用してください。ただし、連動スイッチがOFFになっていないと集じん機のスイッチとして動きません。



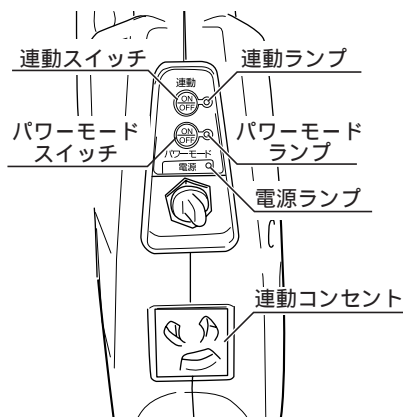
操作方法

(パワーモードスイッチ)

- ・集じん機本体の稼動時のパワーを、強弱に切換えます。

パワーモードスイッチONのとき、パワーモードランプが点灯します。

パワーモードスイッチ	接続できる電動工具
ON時 (強運転)	消費電力 900W以下
OFF時 (弱運転)	消費電力 1100W以下



(連動スイッチ)

- ・連動コンセントを利用するときに使います。連動スイッチの切換えは、電源スイッチをONの状態で行ってください。連動スイッチONのとき、連動ランプが点灯します。

連動スイッチ	本機、接続工具の稼動状態
ON時	接続した電動工具のスイッチ操作により、集じん機本体も連動して運転、停止します。
OFF時	本機は電源スイッチ、接続工具は工具のスイッチ操作により独立して運転、停止します。

[本機を単独で使用 (集じん機・ブロワとして)]

連動スイッチをOFFにし、電源スイッチでON OFFをします。

(注) 連動スイッチの切換えは電源スイッチをONの状態で行ってください。OFF状態では切換えはできません。

[本機に他の電動工具を接続して使用]

連動スイッチON、電源スイッチON：接続された電動工具のスイッチ操作で、本機、電動工具ともにON OFFします。

本機は電動工具のスイッチOFFから約5秒間は動きません。（ホース内の切りくずなどを吸い込むため）

連動スイッチOFF、電源スイッチON：連動スイッチがOFFの場合、電源スイッチをONにすると本機がONになります。接続された電動工具は電動工具のスイッチ操作で、ON OFFします。

（警告）本機の電源コンセントは、スイッチのON OFFに関係なく、常時通電しています。電動工具接続時や、本機の電源プラグを電源コンセントに接続時は、電動工具のスイッチが切れた状態で接続してください。

（スイッチと本機、接続工具の稼働状態一覧表）

電源スイッチ	連動スイッチ	接続工具スイッチ	本機	接続工具
ON	ON	ON	稼働（連動）	稼働
ON	OFF	ON	稼働（単独）	稼働
ON	ON	OFF	停止	停止
ON	OFF	OFF	稼働	停止
OFF	-	ON	停止	稼働
OFF	-	OFF	停止	停止

過負過保護装置について

・ダストバッグが一杯になるか、紙パックが目詰まりしモーターの冷却が十分行なわれない状態になった場合、連動ランプとパワーモードランプが同時に点滅し、モーター焼けを防止するため自動的に本機が停止します。2つのランプが同時に点滅したら電源スイッチをOFFにしてください。

ダストバッグを軽くたたいて目詰まりを取除くか、ゴミを捨てるなどして過負荷の原因を取除き、1～2分後にスイッチをONにしてください。

操作方法

連動コンセントの使い方

⚠ 警告

- ・連動コンセントは、本機のスイッチの位置にかかわらず、電源プラグを電源コンセントにさし込んだ時点で通電します。電動工具のさし込みプラグを連動コンセントにさし込むときは、電動工具のスイッチが切れていることを確認してください。スイッチを入れたまま接続すると、急に始動して事故の原因になります。
- ・シングル絶縁構造の電動工具を接続する場合は、必ずアース（接地）してください。アース線をガス管に接続しないでください。爆発の恐れがあり、事故の原因になります。

(注) 本機はパワーモード（ON）時 900W、（OFF）時 1,100Wまでの電動工具を接続して使用することができます。

- ・電動工具の電源プラグを連動コンセントにさし込み、右へ回します。（抜け止め防止のため）
- ・電動工具の電源プラグを抜くときは、電源プラグを左へ回して抜け止めを解除してから抜いてください。

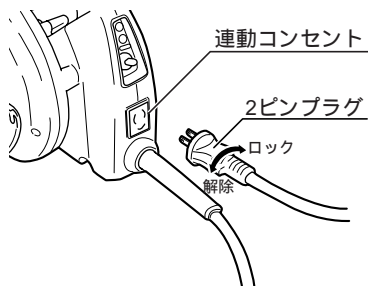
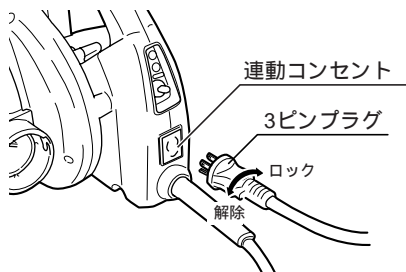
電動工具コンセントの接続

（3ピンプラグの場合）

- ・連動コンセントは3ピンプラグに対応していますので、そのままプラグをさし込んで使用してください。

（2ピンプラグ（二重絶縁）の場合）

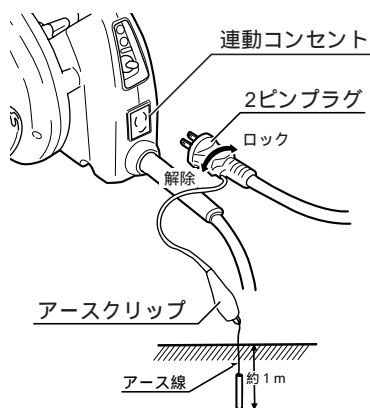
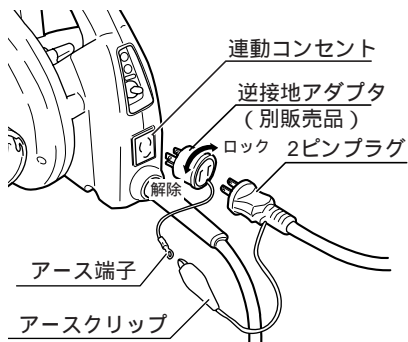
- ・2ピンプラグをそのままさし込んで使用してください。



(アースクリップ付2ピンプラグの場合)

次のいずれかの方法でアース(接地)してください。

- ・ 別販売品の逆接地アダプタのアース端子とアースクリップを接続する。
- ・ アースクリップを直接アース線に接続してアース(接地)する。

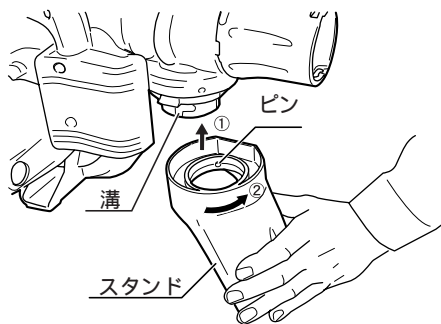


スタンドの取付け

⚠ 警告

・ 本体を床に置く場合は、水平で安定した状態にしてください。事故の原因になります。

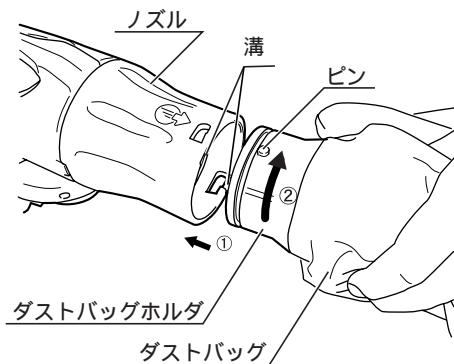
- ・ スタンドを取付けると、本体を床に置いた時または置いて作業をする際に安定した作業が行なえます。
- ・ スタンドの取付けは、スタンドの内側のピン(2ヶ所)を本体側の溝にさし込み、スタンドを矢印 方向に回して確実に取付けます。



操作方法

ダストバッグ（白）の取付け

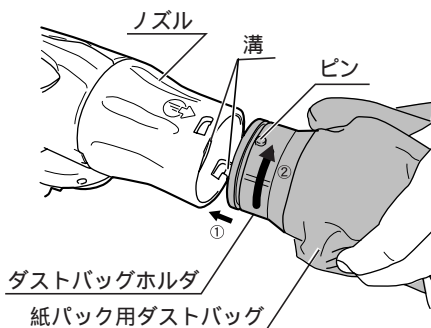
- ・ダストバッグホルダのピン（2ヶ所）をノズルの溝にさし込み、ダストバッグホルダを矢印方向に回して確実に取付けます。
- （注）ダストバッグに付いている肩掛バンド用の金具が上側になるように取付けてください。
- ・取外しは、取付けの逆の要領で行なってください。
- （注）ダストバック（白）はコンクリートなどの細かい粉じんの集じんには使用しないでください。布の編目より粉じんが飛散します。



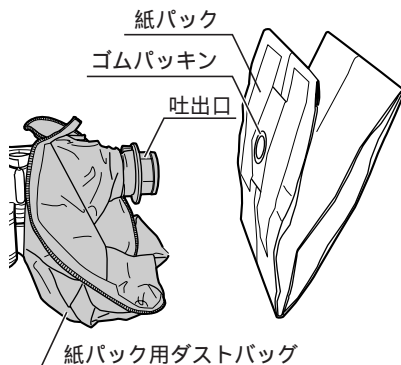
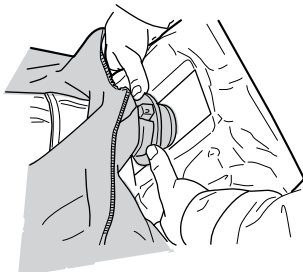
紙パックの取付け

- ・紙パックを使用するときは、紙パック用ダストバッグ（黒）を取付けてください。

1. ダストバッグホルダのピン（2ヶ所）をノズルの溝にさし込み、ダストバッグホルダを矢印方向に回して確実に取付けます。
- （注）ダストバッグに付いている肩掛バンド用の金具が上側になるように取付けてください。

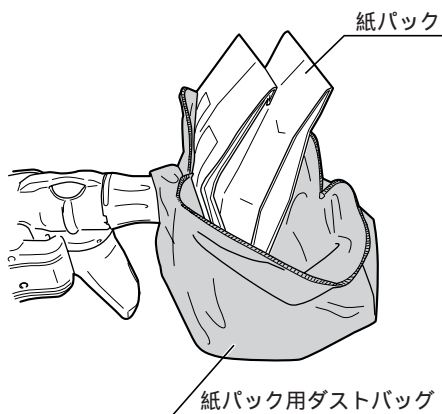


2. 紙パック用ダストバッグのファスナーを開いて、紙パック用ダストバッグの吐出口を出します。
3. 紙パックのゴムパッキン部を紙パック用ダストバッグの吐出口に右図のようにさし込んで取付けます。



4. 紙パックを紙パック用ダストバッグの中に
収納し、ファスナ - を閉じます。

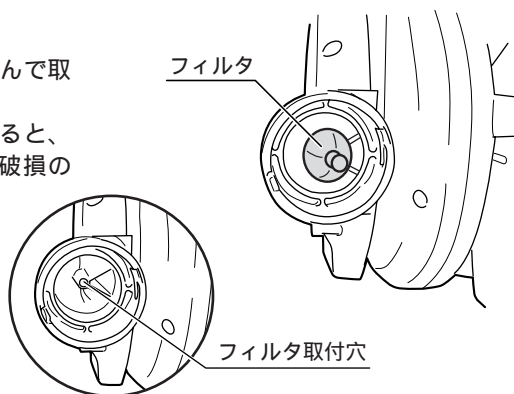
- ・ 取外しは、取付けの逆の要領で行なってく
ださい。



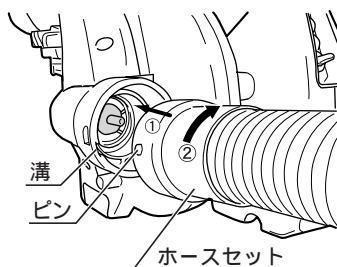
ホースセットの取付け

1. フィルタを吸込口内の取付穴にさし込んで取
付けます。

- (注) フィルタを取付けずに作業をすると、
木片、石などを吸込み、ファン破損の
原因になります。

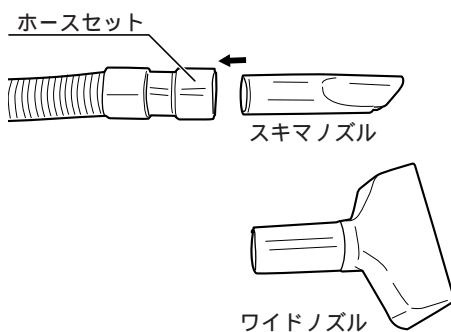


2. 吸込口の溝にホースセットのピン (2ヶ所)
をさし込み、ホースセットを矢印 方向に止
まるまで回して取付けます。



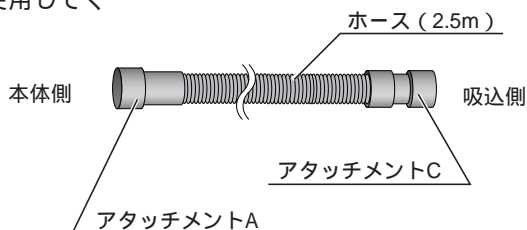
操作方法

3. ホースセットの先端にスキマノズル、ワイドノズルをさし込みます。



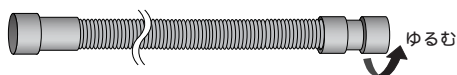
ホース長さの調整

- ・付属品のホースセットのホースは2.5mです。使用時、長過ぎる場合は切断して使用してください。



切断手順

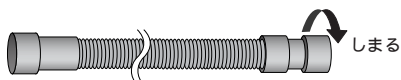
アタッチメントCを右に回して取外す。



希望の長さに切る。



アタッチメントCを左に回して取付けます。

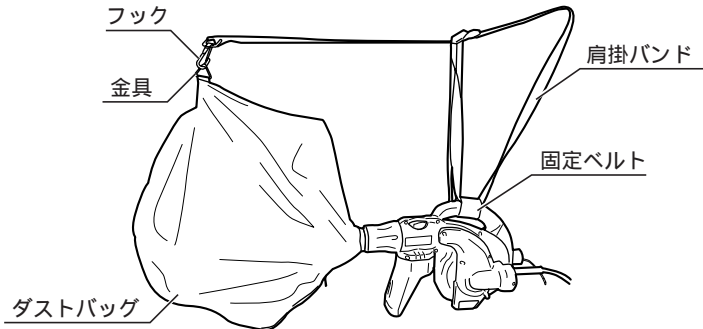


肩掛バンドの取付け

- ・肩掛バンドのフックをダストバッグの金具に引っ掛け、固定ベルトを本体ハンドルに巻付けて取付けます。（固定ベルトはマジック式です）

取付け後は、バンドの長さを調整してください。

（注）マジック部分にゴミなどが付いていないことを確認してから取付けてください。

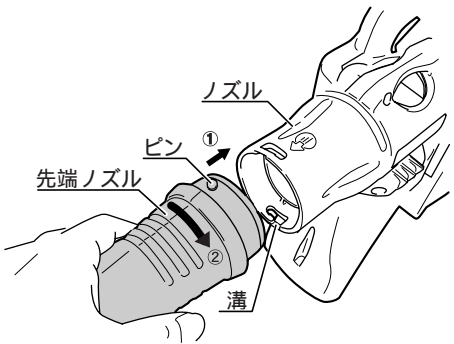


先端ノズルの取付け

- ・ブロウ（吹飛ばし）として使用する場合、ノズルに先端ノズルを取付けて使用します。
- ・先端ノズルの取付けは、先端ノズルのピン（2ヶ所）をノズルの溝にさし込み、先端ノズルを矢印 方向に回して取付けます。

取外しは、取付けの逆の要領で行なってください。

- （注）バキューム作業の後にブロウとして使用する場合、本体内に残ったゴミが飛出すことがあります。ゴミが出なくなったのを確認してから作業を開始してください。



作業方法

⚠ 警告

- ・雨中、雨上がり後や散水後および湿気のある場所で使用しないでください。感電や故障の原因になります。
- ・可燃性の液体（ガソリン、シンナー、ベンジンなど）やガスのある場所で使用しないでください。また、それらを吸込ませないでください。発火、爆発の原因になります。
- ・使用中にノズルの先端を人に向けしないでください。けがの原因になります。
- ・吸込口や排出口に身体（指、手など）を入れないでください。けがの原因になります。
- ・火のついたタバコ、マッチなどを吸込ませないでください。故障、発火の原因になります。
- ・水、湿ったゴミなどは、吸込まないでください。感電や故障の原因になります。
- ・作業員以外は作業場に近づけないでください。特に子供は近づけないでください。事故の原因になります。
- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前にスイッチが入っていないことを確認してください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・使用中、本体を確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・作業中、吸込口に枝、ナイロン袋などのゴミが引っかかったときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた後、ゴミを取除いてください。
- ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、ほこりの多い場所ではマスクを併用してください。

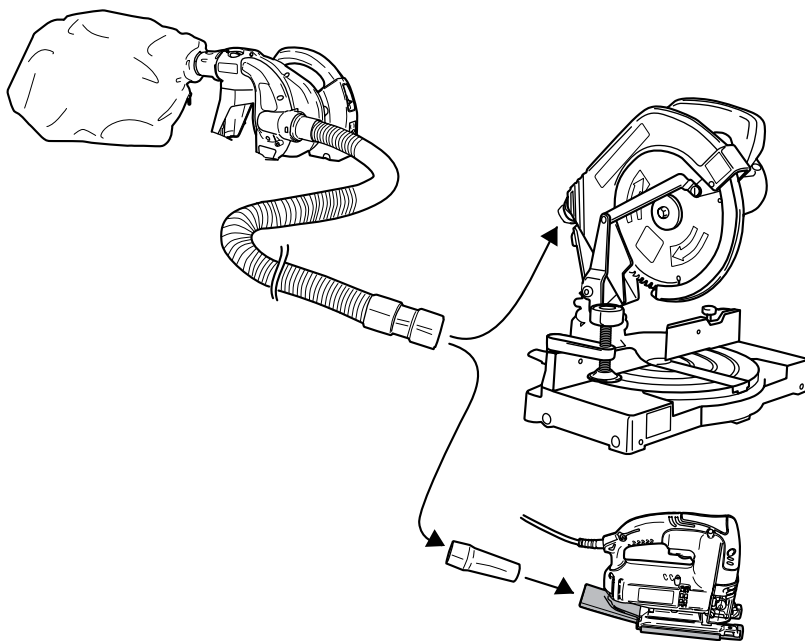
⚠ 注意

- ・排出口、吸込口などをふさがないでください。モーターの回転が異常に高速となり、破損の原因になります。
- ・吸込み作業前に必ずダストバッグを装着していることを確認してください。けがの原因になります。
- ・作業前に大きな木片、金属、ガラス、石などの異物を取除いておいてください。ファン破損の原因になります。

電動工具への接続

⚠ 警告

- ・ グライнда、切断機などでの金属切断、研削作業など火花が発生する作業には接続しないでください。火災の原因になります。
- ・ 本機に電動工具を接続しますと、電動工具のスイッチに連動する集じん機としてご使用いただけます。
- ・ 連動集じん機として使用する場合、本機のコンセント部に電動工具の電源プラグをさし込み、連動スイッチONにして使用します。(P11,12参照)
- ・ 電動工具への集じんホースの接続は、電動工具の排出口の径によりホースセットをそのまま接続するか、付属品のカフスを使用して接続します。また、別販売品の集じんホースを使用して接続をすることもできます。(P22参照)



作業方法

ブロワとして使用する場合

- ・しっかり本体を持ち、ゆっくりと動かしながら吹飛ばし作業を行ないます。
- (注)バキューム作業の後にブロワとして使用する場合は、本体内に残ったゴミが飛出すことがあります。ゴミが出なくなったのを確認してから作業を開始してください。
- (注)ホースセットを外して使用する場合、フィルタを外しておいてください。落ちることがあります。

バキュームとして使用する場合)

- ・ダストバッグを取付け、ファスナ - がしまっていることを確認後、スイッチを入れてください。
- ・しっかり本体を持ち、ゆっくりと動かしながら吸込み作業を行ないます。
- (注)ダストバッグにたまったゴミは早めに捨ててください。一杯になるとゴミを吸わなくなります。また、モーターの冷却が十分に行なわれなくなり、過負荷保護装置が作動して機械が止まったり、モーター焼けの原因になります。(過負荷保護装置が作動した場合は、P12参照に解除してください。)
作業後は、ダストバッグにたまったゴミを捨ててください。
- (注)本機は粉じんなどの小さなゴミの集じん用です。落葉などを吸込んだ場合は詰まることがあります。

別販売品について

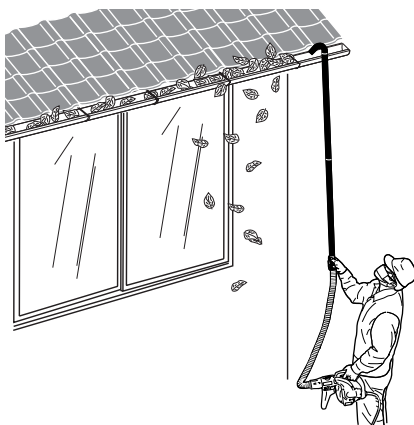
雨どいノズルセット

- ・雨どいに溜まった枯れ葉やゴミ、ほこりを吹き飛ばす作業に使用してください。

ノズルの延長用にも使用できます。

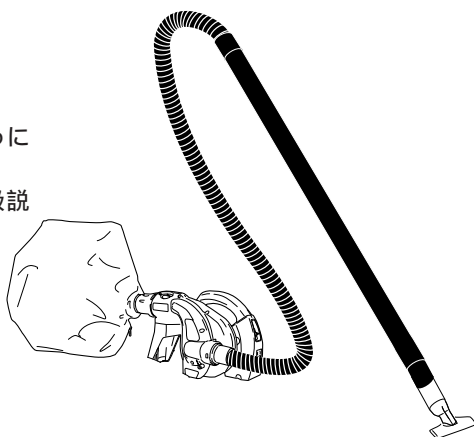
接続方法については、雨どいノズルセットの取扱説明書をご覧ください。

- (注) 雨どい清掃の際は、吸込み作業（バキューム）で使用すると詰まりの原因になりますので、ホースセットはノズルに取付け必ずブロワ（吹き飛ばし）で使用してください。



パイプセット

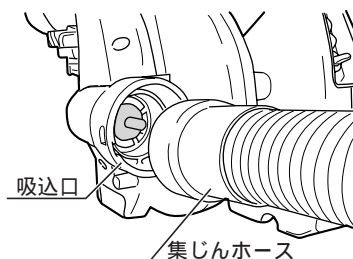
- ・ノズル部の延長用に使用します。
- 各部の接続の際は、使用中に外れないようにしっかりとさし込んでください。
- 接続方法については、パイプセットの取扱説明書をご覧ください。



集じんホース

- ・本機と電動工具を集じんホースで接続して、集じん機として使用できます。
- 本機吸込口に集じんホース（外径38mm側）を接続し、反対側（外径30mmと内径38mmの2種類があります。）を電動工具などの粉じん排出口に接続してください。

- (注) 集じんホースを取付けるときは、付属品のホースセットを取外してください。



保守と点検

⚠ 警告

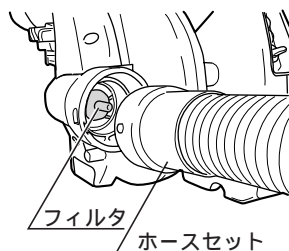
- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。
- ・ダストバッグが汚れた場合は、ダストバッグホルダを付けたまま水またはぬるま湯で手洗いをしてください。ダストバッグは十分乾燥させてから使用してください。
- ・吸込口に取付けているフィルタは定期的に点検、清掃してください。
ホースセットを取外し、吸込口内のフィルタを取出し、フィルタに付いているゴミなどの異物を取除いてください。

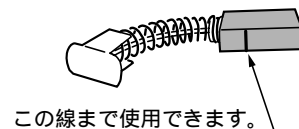
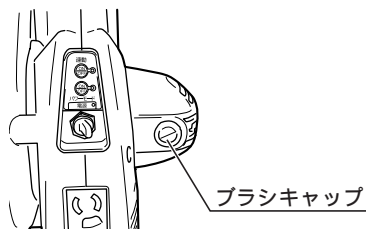


作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。子供の手の届く範囲や落下の恐れがあるところは避けてください。

カーボンブラシについて

- ・本機には消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの長さが全長の1/3程度（線の入った位置）に摩耗したら、新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、モーター焼けの原因になります。
- ・カーボンブラシの交換は、⊖ドライバーでブラシキャップを外し、摩耗したカーボンブラシを取出します。カーボンブラシは2個1セットです。交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明の点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

— NOTE —

— NOTE —

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141